

連絡先	「未来の学校」プロジェクト実行委員会 事務局
	広報担当：宮内・神澤
	所在地：〒565-0826 吹田市千里万博公園1番1号 万博記念ビル1F 彩都 IMI 大学院スクール内
	Tel：06-6816-4563 / Fax：06-6816-4565

—取材のお願い—

未来の学校 2006 『彩都こどもゼミナール』

1. 趣旨

今年度の「未来の学校」は、最先端の科学を子どもたちが正しく理解するために、認定NPO法人千里アーカイブスステーション(SAS)の科学番組を使って授業をします。その際、大学院の研究者と小学校の先生がコラボレートし、SASの科学番組を共同で小学生向けに再編集をします。さらに、研究者が学校に出向き、その教育映像を使い科学をわかりやすく伝えます。

この取り組みは、カメラ大国にしては貧弱な教育映像しかない日本の教育現場に対する問題提起でもあります。子どもたちには松原正毅実行委員長からメッセージが付いた副読本が渡され、頭で学んだことを体験するワークショップの時間もあります。

彩都は、豊かな教育が享受できるまちをめざしています。「未来の学校」とは、30年先の理想的な教育のあり方を今、問いかけていく活動でもあります。

どうか、この新しい教育プロジェクトを取材して頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

「未来の学校」プロジェクト実行委員会

委員長 松原正毅(国立民族学博物館名誉教授、大阪外国語大学理事)

プロデューサー 畑祥雄(関西学院大学教授、彩都 IMI 大学院スクール総合監督)

2. 開催概要

「未来の学校 2006 彩都こどもゼミナール」

テーマ：生命(いのち)のしくみを考える

日程：2006年11月～2007年1月

主催：「未来の学校」プロジェクト実行委員会
(大阪府、茨木市、箕面市、他)

協力：大阪府教育委員会、茨木市教育委員会、箕面市教育委員会、
認定NPO法人千里アーカイブスステーション(SAS)、彩都IMI大学院スクール
NPO法人彩都メディア図書館

3. 実施小学校担当教員＋研究者のコラボレーション

- ①茨木市立彩都西小学校 御田正勝先生 +中村桂子氏(JT 生命誌研究館館長) 他
+増井徹氏(医薬基盤研究所主任研究員)
+長田直樹氏(医薬基盤研究所研究員)
+森下竜一氏(大阪大学大学院教授)
- ②茨木市立春日丘小学校 日影一正先生 +佐藤洋一郎氏(総合地球環境学研究所教授)
- ③茨木市立東小学校 小路輝子先生 +講師未定
- ④茨木市立沢池小学校 細川志真代先生、荒木香子先生＋林勝彦氏(東京工科大学教授)
五十里圭伸先生
- ⑤箕面市立豊川南小学校 滝口哲司先生、西川俊子先生 +広瀬茂男氏(東京工業大学大学院教授)
柏原えり子先生、藤江将幸先生
佐久間保子先生、神村和美先生
- ⑥箕面市立萱野北小学校 赤川隆洋校長 +瀬戸口烈司氏(前京都大学総合博物館館長)
- ⑦大阪インターナショナルスクールMr.Eric Zarouba +高橋智隆氏(ロボットクリエイター)

4. 取材等の問い合わせ先

「未来の学校」プロジェクト実行委員会 事務局

〒565-0826

吹田市千里万博公園1番1号 万博記念ビル1F

彩都 IMI 大学院スクール内

Tel : 06-6816-4563 / Fax : 06-6816-4565

Email : mirai2006_pr@mirainogakkou.net

広報担当: 宮内・神澤

5. 「未来の学校 2006 彩都子どもゼミナール」 実施授業一覧

	学校名	日程	テーマ	講師	内容(予定)	
					レクチャー	ワークショップ
1	茨木市立 彩都西 小学校 (終了しました)	①11月9日(木) ② 14日(火) ③ 17日(金) ④ 24日(金)	DNAに関する シリーズ学習	①中村桂子 他 ②増井徹 ③長田直樹 ④森下竜一	①生命の誕生、生物の種類と進化について ②神様はサイコロを振るか? ③DNA のちがいを見てみよう ④DNAと医療について ※この活動は、独立行政法人科学技術振興機構(JST)のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトの支援を受けて実施しています。	
2	箕面市立 萱野北 小学校 (終了しました)	12月6日(水)	人の進化 化石発掘調査	瀬戸口烈司	環境など変化に伴った人類の進化の過程について 化石の発掘調査について *映像テーマ:「人類の起源」	自分の足跡を化石にしよう
3	茨木市立 沢池 小学校	12月14日(木)	消化器官ツアー	林勝彦	NHK「驚異の小宇宙 人体」の映像を用いて、人の体の仕組み(特に消化器官)について *映像テーマ:NHK「人体」の再編集	胃が溶けないしくみを知ろう
4	茨木市立 春日丘 小学校	12月19日(火)	種の多様性 里山と人のつながり	佐藤洋一郎	種の多様性について(たとえば、コメの多様性) 里と人の五感について *映像テーマ:「種の多様性/里と五感」	カレーを通して食の豊かさを知ろう
5	箕面市立 豊川南 小学校	2007年 1月23日(火)	ロボットの働き	広瀬茂男	いろいろなロボットの紹介とそれぞれの役割、使われ方などについて(特に人の役に立つロボットについて) *映像テーマ:「人とロボット」	ロボットを知ろう
6	茨木市立 東 小学校	2007年 1月中旬以降	骨のある仲間たち	講師未定	生命の進化のつながりについて ～“骨”の進化から探る～ (身近なものを題材に、生命の連続性、遺伝子の存在・役割について) *映像テーマ:「生き物のつながり」	生き物のつながりを考えよう
7	大阪 インターナショナル スクール	2007年 1月中旬以降	ロボット技術の発展(二足歩行)	高橋智隆	2本足で歩くロボットの開発と、これからのロボット開発について *映像テーマ:「二足歩行ロボット技術」 **授業はすべて英語で実施	ロボットを知ろう

「未来の学校」からの贈りもの

これからはじまる“彩都子どもゼミナール”は、21世紀に活躍するみなさんに最先端の科学をわかりやすく伝えようとする「未来の学校」からのプレゼント授業です。

日本は世界でも科学技術の研究がさかんな国のひとつです。現在の科学技術は、発明や発見のスピードが早いうえに、専門的な用語がたくさん出てきて、わからないことが多いと感じている人はたくさんいます。

「未来の学校」では、最先端の科学を担っているさまざまな研究者を学校に招いて、肉眼では見えないところはカメラを使った“もうひとつの眼”で創る映像を通じて、研究者からわかりやすく直接に教えてもらいます。

この授業は、机の上で勉強するだけではなく、みなさんが大人になった時には生活の中で当たり前に使っている科学を研究者とともに学ぶ、心躍るものになるでしょう。

このような“彩都子どもゼミナール”は、最先端の科学を担っている研究者が新しいまち「彩都」とさまざまなかたちでかかわっているから実現できたものです。

学校の先生と大学や研究所の研究者は、いっしょに未来を見ています。子どもたちを豊かに育てることと、科学が生活を豊かにすることには共通するものがあります。明るい未来の生活は、科学を正しく理解し使いこなす大人（現在の子どもたち）によって築かれることになるでしょう。その目標に向かって、先生と研究者が共同して授業をします。

この授業で体験したことを、家の人にもよく話して内容を伝えてほしいと思っています。伝えることで理解が深まり、そうすれば授業でうけた感動が長くつづき、生活のなかに根づいた知恵に成長してゆくからです。

「未来の学校」「彩都子どもゼミナール」の授業を通じて、自分の目でたしかめ、自分の頭で考える姿勢が確立してくることを願っています。

「未来の学校」プロジェクト実行委員会

委員長 松原 正毅

大阪外国語大学理事

国立民族学博物館名誉教授